



令和3年

8月号

保育所だより



社会福祉法人平田保育会
みなみ保育所
62-2374
090-5700-9459

真っ青な空に入道雲が浮かび、本格的な夏がやってきました。子どもたちは暑さに負けず元気いっぱい、水遊びやプール遊びなど目を輝かせて遊んでいます。

子どもたちは、プール遊びを心待ちにしており、水を怖がる子どもは少なく顔つけやバタ足、沈む玩具拾いなどして、全身で水の感触を楽しんでいます。プールからあがるとお腹がぺこぺこにへり、昼食をしっかり食べてからぐっすり眠っています。

ひき続き夏の遊びが楽しめるよう、素材を工夫したり一人一人のつけた楽しさに共感したりしていきたいと思っています。

今月の終わりには“みなみっこまつり”を予定しています。当日を楽しみにしながら、子どもたちと準備をすすめたいと考えています。保護者の皆様のご理解ご協力のもと楽しいおまつりにしたいと思いますので、ぜひ、お越しください。



ぞう組～プール遊び

8月の行事予定

- 4日(水) 一日保育士②(3歳児以上)
 - 〃 身体測定週
 - 5日(木) 巡回相談
 - 6日(金) <ふれあいデー>七夕会
 - 8日(日) 山の日(祝)
 - 9日(月) 振替休日
 - 10日(火) 保育所開放日
 - 12日(木) 布団持ち帰り
 - 13日(金) } 希望保育
 - 14日(土) }
 - 17日(火) 誕生会
 - 18日(水) 避難訓練
 - 19日(木) 一日保育士③(3歳児以上)
 - 20日(金) 集金日
 - 27日(金) 布団持ち帰り
 - 28日(土) ☆みなみっこまつり
 - 31日(火) プール納め
- ☆印の行事につきましては後日お便りで詳しくお知らせします。

9月の主な行事

- 3日(金) 一日保育士④(3歳児以上)
- 14日(火) 一日保育士⑤(3歳児以上)



きりん組～プール遊び・スイカ割り

くま組～水鉄砲・プール遊び

○保育目標～夏ならではの遊びを楽しもう

今月も、水遊びやプール遊び・寒天・色氷などの様々な感触を味わいます。また色水遊び・染め紙・にじみ絵などの涼しさを感じる色彩も楽しみたいと思います。そして、ダイナミックにボディペイントなど全身を使って遊んだりします。

みなみっこまつりに向けて、おまつりの雰囲気を楽しめるようなちょうちんなどの制作をしたり、和太鼓の音やみこしの掛け声を聞いたりし、おまつりごっこを楽しみます。

○生活目標～生活リズムを整えよう

感染症や熱中症などの予防には『早寝・早起き・朝ご飯』の生活リズムを整えることがとても大切です。お盆休みなどは、大人の都合に合わせて崩れやすくなりますが、子どもの生活リズムを中心に毎日の夕食や入浴、就寝と起きる時間を決めて休日崩さないことが生活リズムを定着させるポイントです。



お知らせ・お願い



●ふれあいデー「七夕会」について 6日(金)

祖父母の皆さんと一緒に笹に飾りつけをした後、出し物を見たり平田音頭を踊ったりして楽しみます。

- ボランティアについて { 11日(水)・12日(木)
- { 17日(火)～19日(木)

島根県立大学1年生2名が、それぞれの期間に保育ボランティアをします。よろしくお願いいたします。

●希望保育について 13日(金)・14日(土)

この日は希望保育(於:平田保育所)とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。保育を希望される方は弁当と水筒を持ってきてください。

●実習生について 16日(月)～27日(金)

岩崎さん(大学2年生)が実習します。よろしくお願いいたします。

●みなみっこまつりについて 28日(土)

28日(土)は時間帯を分けて2部構成で行います。ご家族で楽しいひと時を過ごしていただけるよう計画しています。

*ご寄贈ありがとうございました

保護者様～きゅうり・プチトマト・スイカ



職員出張のお知らせ

- 5日 ※衛生講習会 石飛
- 〃 ※保幼連携合同研修 錦織
- 23日 ※平中校区夏季合同研修会 安食、山根美
- 31日 ※乳児保育 web 研修 勝部



職員について

- * 田中咲歩保育士が復帰しうさぎ組を担当します。よろしくお願いいたします。
- * 8月から古川真紀保育士・濱崎史絵保育士(7/27～8/27)が勤務をします。よろしくお願いいたします。



うさぎ・りす・ひよこ組～水遊び・プール遊び

ほっとルーム

～「感じる心」が育まれる環境～

小さな子どもにとって、自分のまわりの世界を「知る」ことは大切ですが、その前に、「感じる」という経験がとても重要であるといわれています。それは、大人が教えることのできないもので、美しいものを美しいと感じる感覚、様々な事実に出会い、見て、触れて、かいで不思議に思ったり感動したりすることです。そうして得た知識は本質をとらえる力になっていきます。(参考文献～保育の友 2021年8月号)

身近な大人との愛着関係が出来てくると、安心して心が動き、興味がわいて、感性が芽生えると言われていきます。そして、その育ちの過程で、大人や友達の優しさもプラスされ、自然とかかわることが心地よい経験として子どものなかへ蓄えられていきます。

夏のこの時期は、海や山など自然の中で思い切り遊べるチャンスです。自然の中で風、太陽、水、木々、鳥の声、虫などが子どもの五感に優しく働きかけていきます。ゲームやスマートフォンなどで時間を過ごすのは子どもたちがこれから成長していくなかで、もったいないと思います。乳幼児期の環境は大人の意識が大切です。